

未来づくり懇談会（荒井）会議録

日 時：平成29年7月6日（木）

18：30～20：00

場 所：荒井自治公民館

出席者：市長、教育長、総合政策部長、
経済建設部長

1 開 会 18：30

進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

- 持続可能な矢板地区のまちづくりについて
- ・資料に基づき、人口推計等について説明。

5 行政区設定テーマ

○道路の整備等について

Q1 東泉と上町を結ぶ市道の道路拡張工事をしてほしい。

A1 本町・東泉1号線の整備は、荒井市営住宅入口から東泉地内までの整備が終了している。荒井市営住宅入口から矢中までの区間は道幅も狭く通行しにくいことは認識している。未整備区間は住宅が連立しているため、整備費用が膨大になることから事業が未着工となっている。国道461号から矢中までも狭い状況であるため、総合的な整備について検討している状況にある。

Q2 「かしわ幼稚園」西側を走る道路の拡張及び市道に格上げしてほしい。

A2 底地が市の名義で現在舗装されている4m以上の道路が条件となる。要望の道路は水路ぎりぎりまで整備しても4mの確保が困難な状況にあり、拡張する際は地権者からの寄付による協力が必要なる。なお市道に認定されてもすぐに拡張工事が確約される訳ではないことを了承願いたい。

Q3 アレスト荒井西側認定外道路の排水、路面改良してほしい。

A3 平成28年度に現況測量を実施し、本年度は実施設計を予定している。工事は平成30年度に予定している。

Q4 清水尻の団地内認定外道路の路面改良してほしい。

A4 平成25年から平成28年に側溝を真ん中に入れて204mを整備した。残

り 1. 3 kmあり、整備費用として1億3千万円かかると見込んでいる。予算の範囲内で少しずつ対応していく。

Q 5 会津中街道沿いの道路の痛みが目立つので、簡易舗装工事を要望する。

A 5 市道であっても未舗装の場所もあるため、認定外道路の工事については傷んだ場所の補修となる。今後も新たな工法を試しながら補修を実施していく。

Q 6 高齢化により河川清掃での堤防の刈り払い作業が困難になってきている。また保険に加入してほしい。

A 6 高齢化が進んでいることも承知しているが、市の対応も限界があるので、可能な限り地元で対応願いたい。保険については区の活動の場合は対象となるので何かあったら連絡願いたい。

Q 7 荒井市営住宅跡地の活用について行政区にも相談してほしい。

A 7 荒井市営住宅には現在118戸が入居しており、新規は受け付けていない。入居者が「0」になった時点で廃止となるが、借地借家法の観点からも借主保護が適用されるため強制的な退去は求められない。更地になった際はその時点で行政区の意見も確認させていただく。

Q 8 国道4号と県道（矢板那須線）を直結する道路を新設することを要望する。足銀前の交差点の構造にも問題あるが、大型車が街中に入ることによって渋滞が起きている。道路を新設することで東西の行き来がしやすくなるので、市、県、国が一体となって整備をお願いしたい。

A 8 本市では現在下太田のスマートICの整備について進めている状況にある。また国道4号については土屋から上石上のバイパス整備の事業が具体化している。合わせて要望いただいた道路を整備することで本市にとっての環状線となり得る道路となるが事業費も莫大となることから、矢板県民の森線の延伸と言うことを県に要望していきたい。

6 意見交換

Q 1 高原山のツツジが以前に比べ見劣りしてきている。県外から来た人と話をしても同様に感じているらしい。市としても売りとしているので、何らかの対策をお願いしたい。

A 1 樹勢については他からも言われている。周辺の手入れについては燃料費の補助などを出して管理している状況。国からも補助がでているので整備には努めていきたい。八方ヶ原も最近魅力が浸透してきているので、皆さんもボランティアとして参加してほしい。

平成28年10月 八方ヶ原の枯れ枝のチップ化作業ボランティアの実施 (66名参加)
--

平成 29 年 10 月 八方ヶ原の枯れ枝除去作業ボランティアの実施
(41 名参加)

Q 2 市営バスについては許可の関係もあり難しいことは理解しているが、病院の受診で 1 4 0 円のところ、タクシー代で 3 0 0 0 円かかるので利便性を向上してほしい。

A 2 市営バスについては、7 5 歳以上の無料化を予定しているが、それで解決できることで無いことは理解している。高齢者の移動手段については検討している。

平成 29 年 10 月	75 歳以上の市営バス無料乗車券交付事業の実証実験
平成 30 年 4 月	65 歳以上の運転免許証自主返納者の市営バス無料化 65 歳以上 75 歳の誕生日まで
平成 30 年 4 月	75 歳以上の市営バス無料乗車券交付事業の本格実施
平成 30 年 4 月	福祉タクシー券交付事業の見直し 85 歳以上 → 80 歳以上 ※年齢引き下げ 月 2 枚 (最大 24 枚) → 年 24 枚 市外タクシー業者との協定実施

Q 3 防災無線が聞き取れない。

A 3 防災無線だけで全てをカバーするのは難しいので、メール配信サービスや電話サービスなどの代替方法を利用してほしい。

平成 29 年 5 月	防災行政無線放送確認電話番号のチラシを全戸配布
平成 29 年 6 月	防災メール登録及び防災行政無線放送確認電話番号の チラシを全戸配布。
平成 29 年 11 月	防災行政無線放送確認するためのフリーダイヤル (通話 料無料) 電話番号のチラシを全戸配布。
平成 30 年 1 月	防災行政無線の聞こえ方調査を実施

6 閉 会 2 0 : 0 0